

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目：

家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（1組：内堀）

使用教科書：（ 教育図書 『Survive!! 高等学校 家庭基礎 』 ）

教科 家庭

の目標：

- 【知識及び技能】 生活の営みにかかわる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参加しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践的な態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 1章 消費生活・環境</p> <p>【知識及び技能】生涯発達の見点から、乳児期から高齢期までのライフステージの特徴と課題を見出し、その課題を他者と関わりながら達成し、生まれてから死ぬまで発達し続けていくという考え方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自立した生活を営むために、生涯を見通しながら、様々な生活課題に対して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自分の目指すライフスタイルを実現するために、職業選択などの具体的な事例を取り上げたりして考察し、生活設計を工夫する。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成年年齢の引き下げ</li> <li>2 契約と消費者トラブル</li> <li>3 消費者の権利と責任</li> <li>4 生活費と家計 将来の経済計画</li> <li>5 これからの消費生活</li> </ol> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>授業の取り組み・プリントの記入状況・調査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>授業の取り組み・プリントの記入状況・調査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業の取り組み・プリントの記入状況・調査</p>	○	○	○	8
<p>B 6章 高齢期の生活</p> <p>【知識及び技能】生涯を見通して高齢期を捉えることができるようになる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力 等】・長くなった人生を、可能な限り充実させるには何が必要か、自分たちはどう老いていきたいかを考える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】・高齢期の人たちにとっての、地域での生活の大切さを理解する。</p>	<p>指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 超高齢化社会を生きる</li> <li>2 人生のなかで高齢期をとらえる</li> <li>3 充実した高齢期へ</li> </ol> <p>教材</p> <p>一人一台の端末活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>授業の取り組み・プリントの記入状況・調査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>授業の取り組み・プリントの記入状況・調査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業の取り組み・プリントの記入状況・調査</p>	○	○	○	4
<p>C 2章 衣生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服は、気候・風土によって異なる一方、人生という長い時間軸で見ると、ライフステージによっても違ってくることを理解する。自分の身のまわりの布がどのような繊維でつくられているかに関心を持つようにする。エプロン製作を通して、よりよい衣生活の実践に役立てられる態度を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の消費行動の多様化・個性化が多量の死蔵品を生む要因となっていることを理解し、消費のあり方を考える。</li> <li>・中古衣料のリユースやリフォームの工夫をする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活の面からできる、環境に負荷を与えない行動を考え、実践する。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人の一生と被服</li> <li>2 被服材料と管理</li> <li>3 エプロン製作</li> </ol> <p>・教材</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 授業の取り組み・プリントの記入状況・調査・作品</p> <p>【思考・判断・表現】 授業の取り組み・プリントの記入状況・調査・作品</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・調査・作品</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1



# 新島高校 令和5年度 家庭演習(必選) 年間授業計画

教科:(家庭)科目:(家庭演習) 対象:(第3学年1組) 単位数:(2)

教科担当者:(1組: 内堀 淳子 )

使用教科書

仕様教材

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
4 月				
	家庭演習の選択内容	家庭演習の内容を知り、これから授業の計画を知る。	提出物・授業態度	2
	被服製作・調理実習の献立作り	花布きんの図案書き・食事のバランスを考えての材料を使った調理実習計画をたてることができる。	提出物・授業態度	2
	調理実習	食事のバランスを考えての材料を使った料理を考えて、調理実習を実際に製作して試食して食べる。	提出物・授業態度	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
5 月	被服 簡単な和服の制作 (甚平の制作)	製作を通して、基礎的な知識・技能を習得する。	提出物・授業態度	10

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
6 月	被服 簡単な和服の制作 (甚平の制作)	製作を通して、基礎的な知識・技能を習得する。	提出物・授業態度	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
7 月	被服 簡単な和服の制作 (甚平の制作)	・製作を通して、基礎的な知識・技能を習得する。	提出物・授業態度	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
9 月	食物 食事の意義と役割	食事の意義と役割について理解を深める。	提出物・授業態度	2
	調理実習	食事のバランスを考えての材料を使った料理を考えて、調理実習を実際に製作して試食して食べる。		2
	一人暮らしの食生活について考える	栄養士からの視点での食生活を学ぶ。		2

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
10 月	被服製作	地区作品展の花布きん製作と卒業製作を製作する。	提出物・授業態度	6
	調理実習	食事のバランスを考えての材料を使った料理を考えて、調理実習を実際に製作して試食して食べる。		2



	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
11 月	被服製作	地区作品展の花布きん製作と卒業製作を製作する。	提出物・授業態度	6
	調理実習	食事のバランスを考えての材料を使った料理を考えて、調理実習を実際に製作して試食して食べる。		2

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
12 月	被服製作	地区作品展の花布きん製作と卒業製作を製作する。	提出物・授業態度	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
1 月	経済生活をつくる	持続可能な社会をめざして、どのように行動をしていけばよいのかを考えることができる。	提出物・授業態度	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
2 月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目「家庭基礎3年」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定 時数
			方法	
3 月				